

来週から1、3年生は中間考査が始まります。今までの学習の成果を十分に発揮してください。また、2年生は待ちに待った修学旅行ですね。楽しい思い出を作ってください。季節はすっかり秋へと変わっています。何をやるにも絶好の時期です。「習うより慣れよ」ということわざがあります。英語では、*Practice makes perfect.* と言います。練習が完璧な結果を作ってくれます。最初はできなくても、何度も練習することでできるようになります。何事も失敗を恐れず挑戦してみましょう。君たちならきっとできると思います。2学期はこれからが本番ですよ。

## 人権教育関連の講演会や研修会に参加

夏休み中に県内外で行われた研修会や講演会に、本校の人権委員が積極的に参加しました。以下に生徒の感想を簡単に紹介します。

### 人権委員夏季研修会 8月2日（金） 内子町うちこ福祉館にて

- ★各高校の人権委員会の活動や取組について発表を聞いた。私たちが堂々と発表した。ワークショップでは、「違いと差別」というテーマで他校の生徒と交流をした。色々な人と話をするのができて良かった。人権クイズは、参加者全員が盛り上がりすぎてとても面白かった。今日一日とても貴重な体験ができた。（1年生男子）
- ★手話は初めての経験で、最初は難しくよく分からなかった。名前やあいさつ等を教えてもらってからはとても楽しかった。パブリカの曲に合わせて手話をする時には夢中になり、すぐ覚えられたので他の曲でも調べて挑戦してみたい。今日の研修会は、私の中ですごく心に残るものとなった。（1年生男子）
- ★どの高校も人権、同和問題、差別のことなど様々な活動をしているのがわかった。今後とも、人権に関する活動に積極的に参加していきたい。長崎の原爆についての講話では、知らない多くのことを学ぶことができた。実際に差別を受けた人の言葉というものは、聞き手に伝わると思った。今日の研修を通して、人権のことを深く考えることができて良かった。（1年生女子）



### 大洲隣保館人権セミナー 「内屋 鏡 講演会」 8月8日（木） 大洲市大洲隣保館にて



- ★最初講演を聞きに行くことに抵抗があったが、実際に聞いてみると全く自分の中になかった考え方とかいろいろあるのを知ることができて勉強になった。次回もこのようなセミナーがあれば、今度は進んで行きたい。（2年生男子）
- ★とても貴重な話を聞くことができた。部落差別については授業等で習ったけど、知らないことがまだまだたくさんあることが分かった。これからも部落差別について真剣に学んでいきたいと思う。（2年生男子）
- ★人権セミナーでは普段全く聞くことのできないことや体験談など多くのことを学んだ。自分には経験したことないような差別を内屋さんが受けていたと思うと、心が痛くなった。今日聞いた話のようなことが起こらないように、人との交流を深めながら生活していけたらと思う。（2年生男子）
- ★内屋さんは幼い頃から部落差別をたくさん受けてきており、その経験談を話された。部落差別を受けても前向きに講演会等に取り組まれていて、私も勇気をもらった。これからも勉強していくことが大切なんだと思った。（3年生女子）

## 全国高校生集会・愛媛県友の集い 8月16日(金)～18日(日) 鹿児島県文化センターにて



全国高校生集会が今年度は鹿児島県で行われました。南予地区の高校生、引率の先生方、市役所の人権啓発課の方をはじめ関係機関の方々、総勢34名が参加しました。2日目の夜には宇和島地区の高校生も合流し、愛媛県友の集いが開かれました。研修を通して他校の生徒と交流を深めることができました。長い3日間でしたが、今までに経験したことのない貴重な時間を過ごすことができました。今大会の研修内容や成果については、12月の人権教育集会で詳しく報告したいと思います。

## 大洲りんぼかんのつどい 9月28日(土) 大洲市大洲隣保館にて

9月28日(土)に、大洲市大洲隣保館にて「大洲りんぼかんのつどい」が行われ、本校の人権委員も参加しました。オープニングの後、学校で育てている植物や実習で作った加工品の販売を行いました。会場には大勢の方が来られており、用意した品物はあっという間に完売してしまいました。以下に生徒の感想を紹介します。

- ★高校になって初めて販売をした。今回の販売で学んだことが2つある。1つはお客さんと会話をする時や商品とおつりを渡す時は目を見て対応すること。もう1つは分からないことを無理に答えず、「分かりません」とちゃんと言うことだ。今回学んだことを生かして農業祭での販売も頑張りたい。(1年生男子)
- ★はじめての販売だったので、とても緊張した。ちゃんと計算できるか不安だったが、お客さんと会話をしていくうちに緊張もほぐれて、今日一日すごく楽しい経験ができた。(1年生男子)
- ★私はマドレーヌの販売を担当した。数が多くて完売できるか不安だったが、次々と売れていったので良かった。1、2個買うお客さんと10個買ってくださいのお客さんもいて、接客・販売の楽しさと責任感を痛感した。(3年生女子)
- ★オープニングでは、子供たちの太鼓演奏がかわいく上手だった。今日の販売では、今まで大農で身につけたことが生かせたのでとても良かった。続けて農業祭でも頑張りたいと思う。(3年生女子)



## 教育相談室から ～ 教育相談員 徳田 公子 ～



大農の教育相談室には時々卒業生が訪ねてきてくれます。卒業したら、はい、さようならではない大農らしさが感じられてうれしい限りです。懐かしい、ちょっと大人びた表情で再会できると、あの頃にはできなかった話題で盛り上がることもあります。

そんな卒業生に必ずする質問

「高校生の時と比べてどう？」すると全員がこう答えます。

「こっち(今)のほうが絶対しんどい。」

就職先や進学した学校のほうが断然大変だと言うのです。高校生の時に悩んでいた彼ら彼女たちは、今また新たな悩みを抱えて毎日を過ごしているのだと思います。

しかし、悩んでいるのは実は、そのこととしっかり向き合っている証拠なのです。深く考える作業を繰り返している時間は、決して無駄ではありません。

今日も、さまざまな思いや悩みを心の中に秘めて、相談室にやって来る生徒との時間を大切に過ごしています。

12月19日(木)には、人権教育集会を予定しております。人権作品の表彰及び発表、全国高校生集会・愛媛県友の集いの参加報告等を行います。ぜひお越しください。

(人権教育・教育相談課 尾田)